

江南市戦略計画を見直し

第二次改訂基本計画を策定しました

～第二次改訂基本計画（平成26年度～平成29年度）の概要～

「豊かで暮らしやすい生活都市」の実現に向けて

歯止めのかからない少子高齢化、東日本大震災の経験や影響、国の経済・財政政策の転換など、本市を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しています。

市民の皆さまをはじめ、市民団体、企業など地域を構成するあらゆる主体が、地域全体の担い手となる時代への転換が重要となっており、自らの判断と責任において地域の諸課題に取り組むことが求められています。このような状況の中、本市では、平成29年度を目標とする「江南市戦略計画」を策定し、将来像である都市のすがたを「豊かで暮らしやすい生活都市」と定め、めざす地域社会づくりの目標と、その実現方策を明らかにしました。



この将来像を実現していくため、5つの分野ごとに、長期的視点から、めざす地域社会のすがたや目標、各主体の役割を明らかにしたものが、基本計画であります。

基本計画は、平成20年度からの前期計画期間、平成23年度からの中期計画期間を終え、各分野で成果があがりつつある一方、平成29年度の最終目標の達成に向けて、まだ重要な課題が残る分野もあります。これまでの成果や課題を洗い出し、本市を取り巻く社会経済情勢の変化に対応するため、平成23年度に策定した「江南市戦略計画」の中期基本計画を市民の皆さまと共に見直し、平成26年度からの後期計画期間における本市のまちづくりの目標と方針を明らかにした「第二次改訂基本計画」として取りまとめました。

「江南市戦略計画」の推進にあたっては、効果的・効率的な行政運営を図りながら、市民の皆さまとの協働により、「江南市に住んで良かった」と言われるまちをめざして諸施策、諸事業の推進を図ってまいります。

最後に、この計画の見直しにあたり、アンケート、住民説明会などを通じて貴重なご意見やご提言をいただいた市民の皆さまをはじめ、まちづくり会議委員並びに多くの関係者の皆さまに対し厚くお礼申し上げます。

平成26年3月

江南市長

● 策定経過

「市民と市役所が共につくり共有できる計画」であることから、その達成状況の確認や基本計画の見直しについても、市民の皆さまと市役所との協働により作業を進めてきました。

市役所では、各部課において進捗状況を検証しながら、検討を重ねてきました。

また、まちづくり会議では、公募市民、各種団体の代表、市職員が、活発な議論を行い、合意形成を図ってきました。

そのほか、市民調査の実施や住民説明会を開催し、市民の皆さまからのご意見やご提案などを踏まえて、計画の見直しを行いました。

| | |
|------------|-----------------------|
| 平成25年 4・5月 | 市民調査の実施 |
| 10月 | まちづくり会議 (分野別会議)の開催 |
| 11月 | まちづくり会議 (全体会議)の開催 |
| 平成26年 1・2月 | 住民説明会の開催 |
| 3月 | 第二次改訂基本計画 の策定 |

◆ 計画の位置づけと見直し方針 ◆

《見直しの背景》

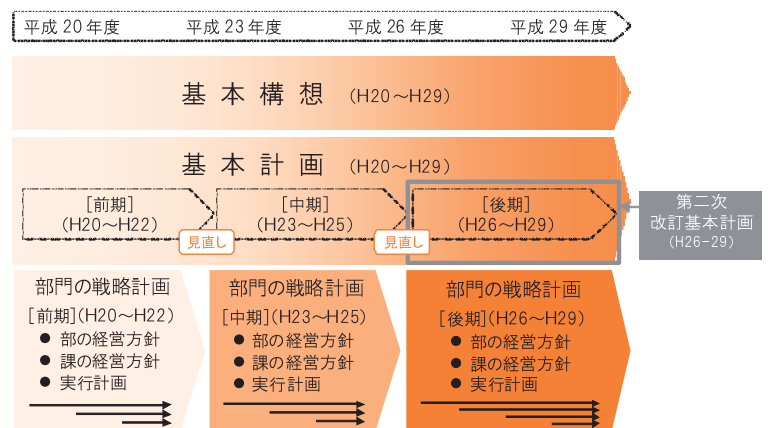
江南市では、平成20年度に、向こう10年間で江南市がめざすまちづくりの目標と、その実現方策を示す江南市戦略計画を策定し、市民と市役所が一丸となってまちづくりを進めてきました。

基本計画は、平成20年度から平成22年度の前期計画期間、平成23年度から平成25年度の中期計画期間を終え、各分野で成果があがりつつある一方、平成29年度最終目標の達成に向けて、まだ重要な課題が残る分野もあります。また、歯止めのかからない少子高齢化、東日本大震災の経験や影響、国の経済・財政政策の転換など、この間の社会経済情勢の変化は大きく、今後適切な対応が求められるところです。

このような状況を受け、平成23年度に策定した中期基本計画の内容を見直し、平成26年度からの後期計画期間における、江南市のまちづくりの目標と方針を明らかにするために、江南市戦略計画第二次改訂基本計画を策定するものです。

《第二次改訂基本計画とは》

江南市戦略計画は、「基本構想」、「基本計画」、「部門の戦略計画」で構成されていますが、江南市戦略計画第二次改訂基本計画は、後期計画期間における「基本計画」をまとめたものです。



《見直し方針》

● 前期・中期計画期間で残された課題への確実な対応

前期・中期計画期間の「まちづくり評価」の結果を踏まえ、残された課題を明らかにし、残る4年間で計画的かつ確実に対応できるよう、計画内容の見直しを図りました。

● 前期・中期計画期間の取り組みをステップとした発展的取り組み

より発展的な課題への対応や、これまでの取り組みの成熟化など、前期・中期計画期間で達成できた成果をステップアップしていくことに視点をおき、計画内容の見直しを図りました。

● 環境変化や新たな課題への的確な対応

江南市をとりまく新たな環境変化を踏まえ、各分野で求められる方向性や成果を再確認し、それに沿った計画内容の見直しを図りました。

● 次代を見据えた新たな地域価値の創造

江南市の未来を支える芽を育み、新たな地域価値の創造にチャレンジするために、江南市の良さ（強み）を将来に向けて伸ばし、活かしていく視点から、計画内容の見直しを図りました。

● 市民との対話によるまちづくり

市民調査（アンケート）や「江南市まちづくり会議」によって把握した市民ニーズや意見を十分に取り入れるとともに、市民と市役所の役割分担や、協働のあり方を再構築することに視点をおき、計画内容の見直しを図りました。

◆ 基本構想の概要 ◆

《将来像》

●江南市の地域社会のしくみ●

だれもが主役、みんなで築く、みんなの郷土

～地域の進むべき方向を「共に考え」 地域づくりを「共に担う」～

●江南市の都市のすがた●

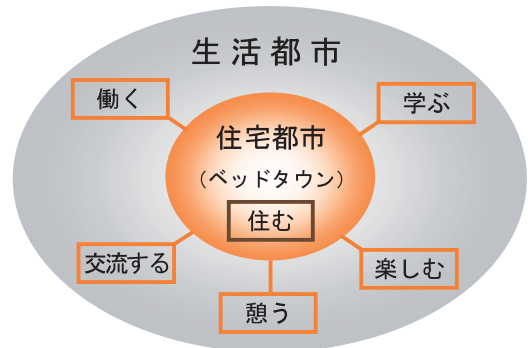
豊かで暮らしやすい生活都市

～市民の生活が地域で支えられる「生活都市」～

- （都市機能）
- 安心・安全に暮らせるまち
 - 快適・便利に暮らせるまち
 - 市民が生きがいもち、活力あふれるまち
 - 豊かな人材が育つまち
 - 環境と調和した豊かな生活の場があるまち

◆生活都市とは・・・

住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。「住宅都市（ベッドタウン）」を核に、さまざまな生活機能が付加された「生活者」のための都市。「生活者」自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現されます。



《市民と市役所の役割》

市民の役割

- 市民は、地域社会づくりの「主役」になって、地域の進むべき方向性を市役所と共に考える。
- 市民は、公共サービスの「受け手」であると同時に、「担い手」という意識をもち、市役所と協力して地域社会づくりに力を結集する。

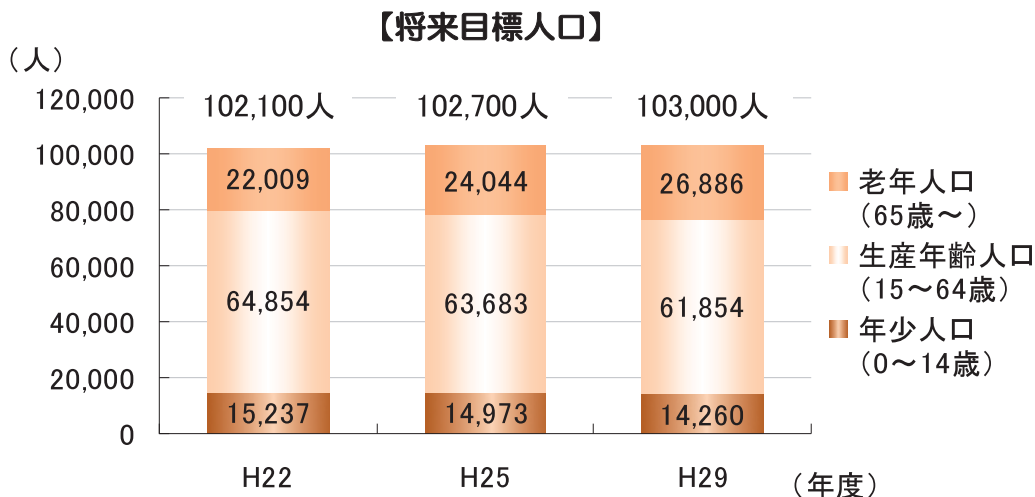
市役所の役割

- 市役所は、市民と共に地域社会のあり方を考え、地域の資源をコーディネートして、地域に新しい価値を生み出す。
- 市役所は、地域の実情に合ったきめ細かなサービスを、効率的かつ効果的に提供する。

◆ 目標フレーム ◆

《人口》

平成 25 年度までの人口推移や今後の宅地開発等の諸要因を検証した結果、江南市戦略計画策定時（平成 20 年度）に設定した将来目標人口を引き続き継承していくこととしました。



《財政》

平成 26 年度予算見込額を基礎として、平成 29 年度までの財政状況を一般会計ベースで見通しました。

(単位: 百万円)

| 年 度 | | 26 | 27 | 28 | 29 |
|-----------|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 歳 入 総 額 | | 27,889 | 27,675 | 27,684 | 27,895 |
| 自 主 財 源 | 市 税 | 12,238 | 12,080 | 12,100 | 12,154 |
| | そ の 他 | 2,910 | 3,455 | 3,413 | 3,213 |
| 依 存 財 源 | 市 債 | 2,644 | 2,500 | 2,302 | 2,789 |
| | 地 方 交 付 税 | 2,696 | 2,442 | 2,166 | 2,150 |
| | そ の 他 | 7,401 | 7,198 | 7,703 | 7,589 |
| 歳 出 総 額 | | 27,889 | 27,675 | 27,684 | 27,895 |
| 義 務 的 経 費 | 人 件 費 | 4,877 | 4,937 | 5,042 | 4,784 |
| | 扶 助 費 | 5,622 | 5,660 | 5,714 | 5,768 |
| | 公 債 費 | 2,464 | 2,328 | 2,530 | 2,639 |
| 投 資 的 経 費 | | 3,267 | 3,098 | 2,738 | 3,026 |
| そ の 他 経 費 | | 11,659 | 11,652 | 11,660 | 11,678 |

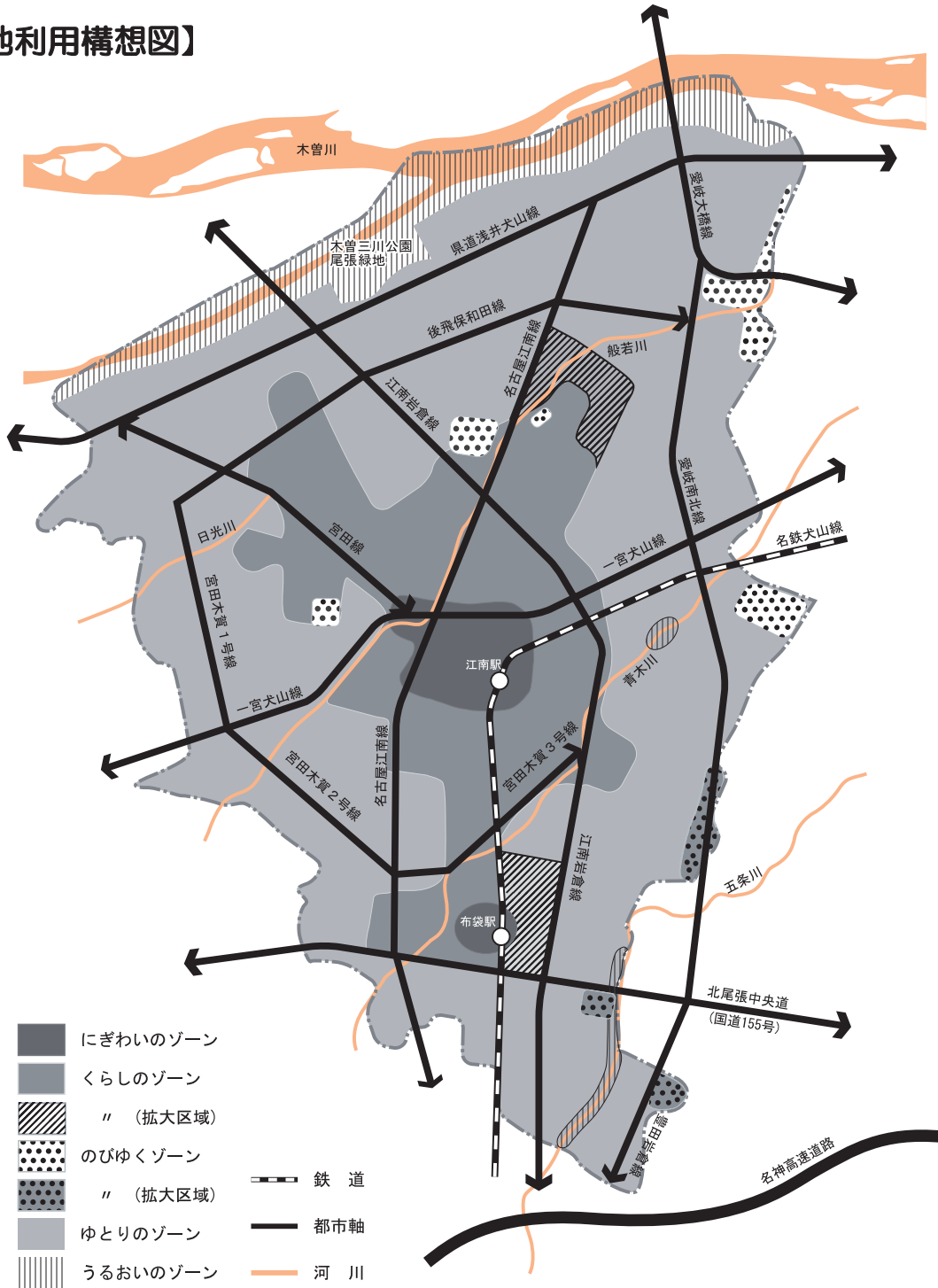
※平成 26 年度は予算見込額、平成 27 年度以降は計画額

- 自 主 財 源 とは 市が自らの権限で収入することができる財源で、主なものは市税(市民税、固定資産税など)です。その他には、分担金・負担金(市が行う事業により利益を受ける者から徴収するお金)や使用料(公共施設を利用したときに徴収される料金)、手数料(証明書等の交付を受けたときに利用者が負担するお金)、諸収入(他の歳入科目に含まれない収入で預金利子や雑入等)などがあります。
- 依 存 財 源 とは 国や県の意思決定により収入される財源で、主なものは市債、地方交付税です。その他には、地方譲与税や利子割交付金、地方消費税交付金、国庫・県支出金などがあります。
- 義 務 的 経 費 とは 任意に削減できない極めて硬直性が強い経費で、人件費(職員の給与等)、扶助費(生活保護費等)及び公債費(地方債の元利償還金等)があります。
- 投 資 的 経 費 とは 道路、橋りょう、公園、学校の建設等社会資本の整備等に要する経費で、普通建設事業費と災害復旧事業費があります。
- そ の 他 経 費 とは 義務的経費及び投資的経費以外の経費で、物件費(旅費や備品購入費、委託料等)や維持補修費(公用・公共施設などの修繕に係る経費)、補助費等(民間団体や他の地方公共団体などが行う事業に対して支出する補助金や負担金等)、繰出金(特別会計へ支出する経費)などがあります。

《土地利用》

市域を5つのゾーンに区分し、各ゾーンの調和がとれた計画的な土地利用を進めます。

【土地利用構想図】



- ◇にぎわいのゾーン**
 市民生活の中心となるゾーンとして、都市機能の集積を高めるとともに、江南市のシンボルとなる景観とにぎわいを形成します。
- ◇のびゆくゾーン**
 市内における就業の場となる活力ある工業ゾーンとして、周辺環境に配慮しつつ、今後も地域経済に貢献していきます。
- ◇うるおいのゾーン**
 木曾川や五条川沿いの恵まれた水辺や緑地など身近な自然を保全し、憩いとうるおいを提供するとともに、レクリエーションの場として活用します。
- ◇ぐらしのゾーン**
 安全で安心して暮らせる居住環境を形成するため、市街地整備を進めるとともに、うるおいのある快適な空間づくりを進めます。
- ◇ゆとりのゾーン**
 都市空間にゆとりをもたらすゾーンとして、市街化を抑制し、農地の多面的な機能を維持・活用します。
- ◇都市軸**
 東西軸：北尾張中央道(国道155号)・一宮犬山線・県道浅井犬山線
 南北軸：名古屋江南線・江南岩倉線・愛岐南北線・愛岐大橋線・宮田線・豊田岩倉線
 環状軸：後飛保和田線・宮田木賀1号線・宮田木賀2号線・宮田木賀3号線

◆ 中期計画期間の成果と課題 ◆

《中期計画期間の目標達成状況》

江南市戦略計画の全指標の平均目標達成率は95.4%となっています。また、達成率90%以上の指標は72.9%で、概ね目標を達成している状況といえます。

| 平均目標達成率 | 95.4% | |
|-------------|-------|-------|
| | 〈項目数〉 | 〈割合〉 |
| 達成率90%以上の指標 | 159項目 | 72.9% |
| 達成率70%以上の指標 | 34項目 | 15.6% |
| 達成率70%未満の指標 | 25項目 | 11.5% |

※達成率は、平成26年2月現在で、実績値の把握できるものの集計

《市民満足度の変化の状況》

「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」の結果

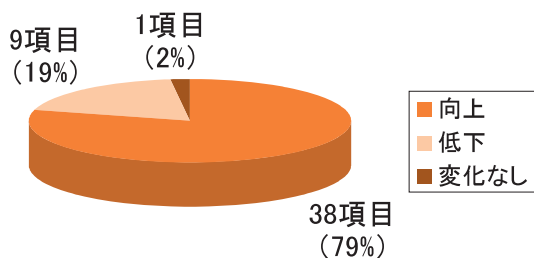
市民満足度がどのように変化したかを明らかにするため、「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」（アンケート）を実施しました。基本計画掲載の指標のうち、市民の満足度や行動の実践度を表す指標48項目について、それぞれ前回調査からの満足度の変化を確認しました。

■ 前回調査とは

平成22年5月に実施した同名の調査をいいます。

■ 「満足度」とは

各設問について、5つの選択肢のうち上位の2つ（「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答）を選択した人の割合を満足度としています。



- 8割近くの設問で満足度が「向上」しました。また、このうちの4項目は前回から10ポイント以上の大きな伸びがありました。（健康、福祉分野1項目、教育分野2項目、経営、企画分野1項目）
- 逆に「低下」した9項目のうち、前回から10ポイント以上大きく落ち込んだものはありませんでした。

※「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」の詳細な調査結果は、江南市ホームページでご覧になれます。

江南市トップページ ⇒ 行政情報 ⇒ 江南市戦略計画 ⇒ 「基本計画の見直し(第二次改訂)(平成25年度)」
(<http://www.city.konan.lg.jp/>)

I 生活環境、産業分野

市民がいきいきと働き、地域が活力にあふれ、
市民は安心・安全、快適・便利に暮らしている。

● 目標達成状況

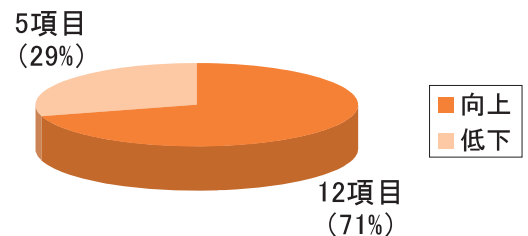
| | |
|-----------------|--------|
| 全体目標の平均目標達成率 | 95.3% |
| 個別目標の平均目標達成率 | 93.9% |
| 柱1 防災・地域防犯・交通安全 | 97.5% |
| 柱2 消防・救急 | 100.1% |
| 柱3 市民生活 | 95.1% |
| 柱4 産業振興・雇用就労 | 81.3% |
| 柱5 環境保全 | 92.4% |
| 柱6 ごみ減量・処理 | 112.2% |

全体目標の平均目標達成率は95.3%で、概ね目標を達成している状況といえます。犯罪や災害への不安が少なく、消防・救急体制が整い、また、ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境により、市民は安心・安全に暮らしている状態にあるものの、「産業振興・雇用就労」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な成果

- 有事の際の情報伝達力の強化
- 消防施設の充実強化及び救命率の向上
- 戸籍の電算化等による窓口サービスの向上
- 中小事業者・失業者の支援
- 事業所等への立入り調査等による公害の発生防止

● 市民満足度



- 全体的には満足度が向上していますが、「防災・地域防犯」、「消防・救急」に関する設問では、一部満足度が低下した設問も見られました。
- 「環境保全」、「ごみ減量・処理」に関する設問で、満足度の低下が見られました。

● 主な今後の課題

- 地域の防犯・防災機能の向上
- 多様化・大規模化する災害・事故への対応
- 市内公共交通の充実
- 産業の活性化・観光客の誘客
- ごみ処理の広域化による新ごみ処理施設建設

II 健康、福祉分野

地域全体で子育てや介護などを支援し、
市民が健康で自立した生活をし、安心していきいきと暮らしている。

● 目標達成状況

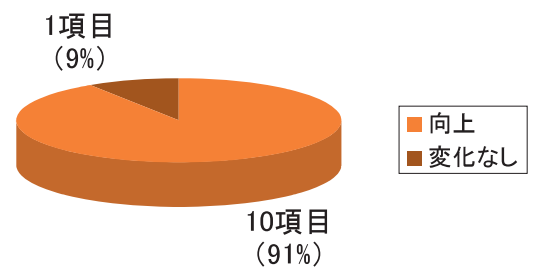
| | |
|--------------|--------|
| 全体目標の平均目標達成率 | 102.4% |
| 個別目標の平均目標達成率 | 95.1% |
| 柱1 高齢者福祉 | 89.2% |
| 柱2 子育て | 87.9% |
| 柱3 障害者福祉 | 98.7% |
| 柱4 健康づくり | 97.1% |
| 柱5 保険年金 | 96.3% |
| 柱6 生活支援・福祉活動 | 113.0% |

全体目標の平均目標達成率は102.4%で、目標を達成している状況といえます。「高齢者福祉」や「障害者福祉」における達成率の伸びが大きく、地域全体で高齢者や障害者などを支援し、住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らしているといえます。しかし、「子育て」のように、個々の指標の達成状況が低いものもあり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な成果

- 介護予防事業及び相談窓口の充実
- 古知野西保育園への指定管理者制度導入
- 障害状況に応じた障害福祉サービスの提供
- 高く保たれた予防接種率、健康診査受診率
- 福祉医療の的確な給付
- 生活困窮者などの自立支援

● 市民満足度



- 「保険年金」に関する設問で、満足度が前回から大きく向上しています。
- 前回調査から満足度が低下した設問はありませんでした。

● 主な今後の課題

- 高齢化の進展に即した活動支援
- 子どもを育てやすい環境整備・支援
- 障害のある人への支援体制の充実
- 健康診査、各種がん検診の受診率のさらなる向上と、こころの健康づくりへの対応
- 国民健康保険及び後期高齢者医療の健全で安定した運営
- 生活困窮者などの自立に向けた支援等の充実

III 都市生活基盤分野

都市生活基盤が整備され、
全ての市民が快適で安心・安全な生活をしている。

● 目標達成状況

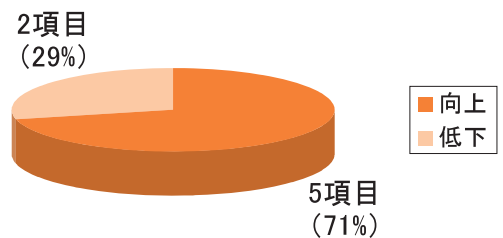
| | |
|--------------|--------|
| 全体目標の平均目標達成率 | 96.4% |
| 個別目標の平均目標達成率 | 96.2% |
| 柱1 市街地整備 | 101.8% |
| 柱2 道路 | 82.8% |
| 柱3 公園緑地 | 103.6% |
| 柱4 下水道 | 99.5% |
| 柱5 治水 | 85.6% |
| 柱6 住環境 | 98.5% |
| 柱7 上水道 | 100.6% |

全体目標の平均目標達成率は96.4%で、概ね目標を達成している状況といえます。公園、水道施設などが整備され、市民は安心して暮らしている状態にあるものの、「道路」「治水」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な成果

- 都市計画道路の整備による歩行空間の確保
- 道路・河川などの環境美化活動の支援による環境美化意識の向上
- ボランティア団体の連携進展、都市公園の利用促進
- 下水道整備区域の拡大
- 雨水貯留浸透施設設置費補助制度の改正
- 県・建築士との協働による適正な指導
- コンビニ収納の実施等による水道料金の収納率向上

● 市民満足度



- 全体的には満足度が向上しています。特に「上水道」に関しては、8割を超える高い満足度が得られています。
- 「治水」、「住環境」に関する設問で、満足度の低下が見られます。

● 主な今後の課題

- 江南駅付近の基盤整備
- 計画的・効率的な道路整備
- 花いっぱい運動の活性化
- 下水道普及率の向上
- 第3次江南市総合治水計画に基づく治水対策
- 木造住宅の耐震化の意識啓発、減災化の対応
- 水の安定供給、災害などへの危機管理体制の充実

IV 教育分野

次世代の社会を担う豊かな人間性と学力をもった子どもが育っているとともに、市民が生涯にわたり学び、それを地域社会に活かしている。

● 目標達成状況

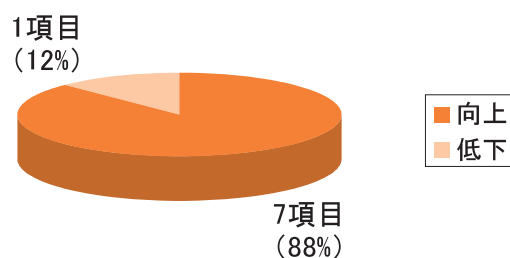
| | |
|--------------|--------|
| 全体目標の平均目標達成率 | 99.1% |
| 個別目標の平均目標達成率 | 95.5% |
| 柱1 学校教育 | 83.5% |
| 柱2 教育環境 | 91.4% |
| 柱3 生涯学習 | 94.0% |
| 柱4 文化・交流 | 112.5% |

全体目標の平均目標達成率は99.1%で、概ね目標を達成している状況といえます。「学校教育」については、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができているものの、達成状況は83.5%にとどまり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な成果

- あいさつ運動などでの学校、家庭、地域の連携
- 職場体験学習の実施による生徒の進路選択能力育成
- 教育現場の実態の把握
- 市民ニーズに応えられる講演会・講習会等の開催
- 文化芸術活動や交流活動に関心をもつ市民の増加

● 市民満足度



- 「教育環境」に関する設問で、満足度が前回から大きく向上しています。
- 「学校教育」に関する設問で、若干の満足度の低下が見られました。

● 主な今後の課題

- 開かれた学校づくりのさらなる推進
- 児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題への連携した取り組み
- 高齢者教室の会員の増加
- 文化芸術活動や交流活動の充実

V 経営、企画分野

市民と市役所との信頼関係のもとに協働型社会が構築されており、限られた経営資源の中で最大の成果を実現し、効率的で公平かつ適正な行財政運営が行われている。

● 目標達成状況

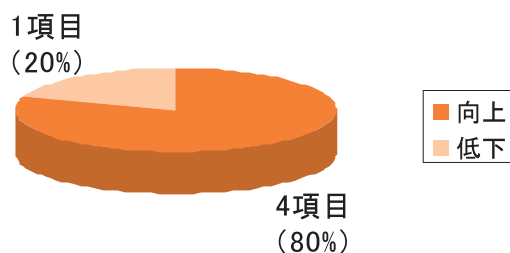
| | |
|--------------|--------|
| 全体目標の平均目標達成率 | 109.2% |
| 個別目標の平均目標達成率 | 92.9% |
| 柱1 地域経営 | 69.9% |
| 柱2 行政経営 | 91.7% |
| 柱3 課税・収納 | 82.6% |
| 柱4 行政事務管理 | 111.2% |
| 柱5 議会運営への支援 | 189.2% |

全体目標の平均目標達成率は109.2%で、目標を達成している状況といえます。「議会運営への支援」の達成率が大きく伸びているほか、「行政経営」、「行政事務管理」の達成状況も良好であり、公平かつ適正な行財政運営が行われている状況です。一方で、「地域経営」の達成率が低く、めざすべき協働型社会の構築に向け、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

● 主な成果

- 市ホームページのアクセス件数の増加
- 目標や使命を明確にした、効率的・効果的な業務執行
- より効率的・効果的な滞納処分の実施
- 歳計現金の安全かつ有利な運用
- 議会に関する情報発信の強化

● 市民満足度



- 「課税・収納」に関する設問で、満足度が前回から大きく向上しています。
- 「地域経営」に関する設問で、若干の満足度の低下が見られました。

● 主な今後の課題

- 公募型協働支援補助事業の採択数の増加
- 従来の業務執行体制の問題点等を解決するための組織編成の見直し
- 納税意識を高めるための広報活動の充実など、収納率向上に向けた対策の推進
- 円滑な事務管理の推進と電子自治体の充実
- 議会に関する情報発信の手段の検討

◆ 計画の確実な達成に向けて ◆

江南市戦略計画の確実な達成に向けて、平成 26 年度から平成 29 年度の後期計画期間において、次のことを基本に、施策の推進に努めます。

● 重点戦略

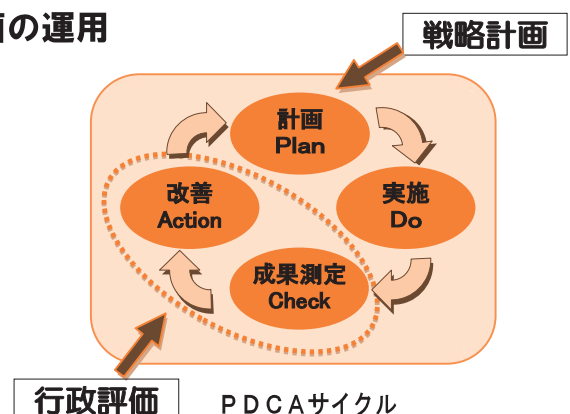
| 安心・安全に暮らせる環境づくり | 子育て支援・次世代を担う人材の育成 | 生活環境に直結する都市基盤の整備 | 市民協働の推進と地域の活性化 |
|--|---|--------------------------------|---|
| 地域全体で地域の安心・安全を守る取り組みを進めます。また、誰もが最低限度の生活を保障されるしくみや対策を完備するとともに、福祉政策の予防・自立支援型への転換を図ります。 | 地域全体で子育てをサポートするしくみ・体制を整えるとともに、次世代を担う人づくりを強化します。また、地域で生きがいをもって活躍できる場・しくみを整えます。 | 市民生活環境の利便性や快適性に直結する都市基盤を整備します。 | 「江南市市民自治によるまちづくり基本条例」等の制定を契機に、市民の皆さまとの協働による地域社会の構築を推進します。また、地域資源を活用し、産業の振興や地域の活性化を図ります。 |

● 新しい行政改革への取り組み

江南市戦略計画に基づくさまざまな施策を支える行財政体制や行政運営のあり方を定めた計画として「江南市第二次経営改革プラン」を策定し、持続可能な財政基盤の確立、定員管理・給与の適正化、外部委託・民間委託、事務事業の効率化・経費節減など「量の改革」とともに、透明で質の高い行政経営の推進、人材の育成・組織の活性化、資産の計画的なマネジメントと利活用、よりよい市民サービスの提供、地域協働の推進など「質の改革」を並行して推進していくことにより、市民満足度の高い行政経営の実現に取り組みます。

● PDCAのマネジメントサイクルによる計画の運用

「行政評価システム」を活用して、定期的な「成果測定(評価)」と恒常的な「改善」を行い、PDCAのマネジメントサイクルによる計画の適切な運用を図ります。



江南市戦略計画第二次改訂基本計画

平成 26 年 3 月

発行／愛知県江南市

〒483-8701 江南市赤童子町大堀 90 番地

電話 (0587) 54-1111(代)

編集／市長政策室秘書政策課

この概要版は再生紙を使用しています。